

口頭発表部門

日付	セッション	発表番号	タイトル	氏名	所属機関
9/14(月)	[A1] 氷床	A1-04	火山シグナル同期による第3期ドームふじ氷床コアの速報年代推定 (0- 1780 m)	浅尾 宗洋	総合研究大学院大学
	[A1] 氷床	A1-12	クレータ様地形からの溢流水河形成境界条件－涵養量に関する考察－	豊山 孝子	北海道大学大学院環境科学院低温科学研究所
	[C1] 積雪・融雪	C1-02	青森・弘前における2024/25年冬期および2025/26年冬期の大雪特性	小野 亨太	北見工業大学大学院
	[C1] 積雪・融雪	C1-08	「盃状くぼみ」の形成過程－汚れによって形成・制御されるくぼみ－	福原 さくら	新潟大学大学院総合学術研究科
	[C1] 積雪・融雪	C1-11	北海道北見における積雪不純物の季節変化と気象条件との関係	皆川 沙由里	北見工業大学大学院工学研究科
	[C1] 積雪・融雪	C1-12	新潟県大白川における積雪表層不純物濃度の時間変化－不純物の流下量と濃縮効果の推定－	船木 明日奈	新潟大学大学院総合学術研究科
9/15(火)	[A2] 雪崩	A2-04	積雪に埋設した灌木の倒伏が雪崩発生に及ぼす影響	鶴岡 理佐子	日本大学理工学部
	[B2] 海氷と陸氷	B2-06	湖水モデルの感度実験とモデル間比較－フィンランドのオアヤルヴィ湖と北海道釧路市の春採湖の観測データによる検証－	牛塚 貴博	北見工業大学大学院
9/16(水)	[A3] 雪氷と生物	A3-01	アラスカ州グルカナ氷河に発生する赤雪の定点カメラ時系列解析	澁谷 圭佑	千葉大学
	[A3] 雪氷と生物	A3-02	日本列島の季節性積雪における雪氷藻類の地理的分布の違いとその要因	北川 康太	北海道大学大学院環境科学院
	[A3] 氷河	A3-06	グリーンランド北西部ボードイン氷河における近年の末端変動と安定性	矢澤 宏太郎	北海道大学低温科学研究所
	[A3] 氷河	A3-10	東南極ホノール氷河棚氷におけるリフト発達とカービングの特性	田中 寛人	北海道大学環境科学院
	[A3] 氷河	A3-11	東南極白瀬氷河における潮汐変動に応じた流動変化メカニズムの解明	説田 周	北海道大学大学院環境科学院
	[A3] 氷河	A3-13	東バミール・Kon Chukurbashi 氷幅アイスコアの年代決定と表面質量収支の復元	近藤 ひかる	北海道大学大学院環境科学院
	[A3] 氷河	A3-14	中央・東ヒマラヤにおける氷河湖決壊洪水の末端モレーンダムの形状に基づく定量的評価	川口 一路晴	名古屋大学環境学研究科
	[A3] 氷河	A3-15	南パタゴニア氷原 Pio XI 氷河における2018年以降の末端変動と流動変化	平野 聖晃	北海道大学低温科学研究所
	[B3] 降雪・着氷雪	B3-02	日本海寒帯気団収束帯 (JPCZ) の分布傾向と大気場の特徴	高橋 聖夢	新潟大学大学院自然科学研究科
	[B3] 降雪・着氷雪	B3-03	日本海寒帯気団収束帯 (JPCZ) に伴うメソβスケール渦の鉛直構造	内堀 可康	新潟大学 自然科学研究科
	[B3] 降雪・着氷雪	B3-05	首都圏での降雪に関わる気温低下の地域特性	仙石 和正	筑波大学大学院
	[B3] 降雪・着氷雪	B3-09	北海道北見市における2025/26冬期の降雪粒子と積雪初期層の形成過程－降雪時の気象条件に着目して－	大橋 康樹	北見工業大学大学院
	[B3] 降雪・着氷雪	B3-17	数値流体解析を用いた円形断面における雪粒子の衝突特性に関する研究	保田 宗輝	京都大学大学院
	[C3] 雪氷と社会基盤	C3-05	車載カメラ画像と道路属性情報を用いた冬季路面雪氷状態の推定手法の検討	甘利 稜馬	北海道大学大学院理学院
	[C3] 雪氷と社会基盤	C3-06	融雪装置制御のためのLiDARセンサによる積雪分布の把握	福原 匠流	長岡技術科学大学
	[C3] 雪氷と社会基盤	C3-12	雪散布によるアスファルト舗装の冷却過程と舗装品質に及ぼす影響	山田 佳汰	長岡技術科学大学

ポスター発表部門

日付	セッション	発表番号	タイトル	氏名	所属機関
9/14(月)	[P1] 雪氷化学	P1-02	融雪期の山岳域における表層雪の冷蔵保存中における化学成分の濃度変化	森 智晴	富山県立大学
	[P1] 雪氷化学	P1-03	立山室堂平の積雪表面ダストにおける局所起源粒子の供給源評価－深成岩帯と火山岩帯の対比－	安宅 飛明	千葉大学
	[P1] 氷河	P1-38	アラスカ山脈グルカナ氷河消耗域の暗色表面のUAV画像深層学習による分類	向後 拓真	千葉大学大学院融合理工学府
	[P1] 氷河	P1-40	アイスランド南東部の氷河流動速度と気温との関係	三橋 拓哉	東京科学大学 環境・社会理工学院
	[P1] 氷河	P1-42	アラスカ南東部タク氷河末端部における氷レーダを用いた氷厚測定	張 佳晏	北海道大学大学院環境科学院
	[P1] 凍土	P1-53	天山山脈, キルギス山脈の氷河・モレーン複合地形 (GMC) の遷移・形成過程	新井 大樹	新潟大学大学院
	[P1] SP1:「雪害」×「レジリエンス」	P1-67	2025/26年冬期における札幌圏大雪の特徴－蓄積型大雪とイベント型大雪の比較－	山口 美里	北見工業大学大学院 工学研究科
	[P2] 雪氷物理	P2-02	富山県における土壌表面温度および降水特性に着目した積雪形成条件の解析	菅 結太	富山大学大学院理工学研究科
9/15(火)	[P2] 吹雪	P2-25	積雪構造の時空間変動を考慮した雪崩の動的ハザードマップの構築 (その10)－小型 LiDAR を用いた雪底形成過程の観測－	明石 一乃	東京科学大学 環境・社会理工学院
	[P2] 吹雪	P2-21	昭和基地で観測された視程と領域気候モデルRACMOのblowing snowスキームによる吹雪フラックスとの関係	添田 照樹	富山大学大学院理工学研究科
	[P2] 観測・計測技術	P2-47	SGLI地表面温度プロダクトを用いた永久凍土分布の高分解能推定手法の開発－夜間データに生じる欠損域の補間手法の検討－	佐藤 志海	富山大学大学院理工学研究科
	[P2] 観測・計測技術	P2-48	2024年度冬季・山形県新庄市における降雪粒子観測	松本 龍輝	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻
	[P2] 雪氷と生活	P2-63	国内の風穴における風穴温度の比較－実測および過去の観測データを用いた検討－	堀内 雅生	法政大学大学院人文科学研究科地理学専攻